

(代表質問)

質問日	令和6年9月25日(水)		質問方式	分割方式			
質問順位	4	会派名	公明党	議席番号	36	氏名	松下 正行
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 ベーシックサービスについて	医療・介護・大学・障がい者福祉などのサービスを無償で提供されることをベーシックサービスと呼び、すべての人々の生活を保障する仕組みである。そこで、ベーシックサービスを市長はどのように考えるのか伺う。						中野市長
2 サーキュラーエコノミーの推進について	サーキュラーエコノミーの推進について、以下伺う。 (1) 本市においてもサーキュラーエコノミーを推進するためにどのように考えていくのか伺う。 (2) 使用済紙おむつのリサイクルで民間事業者と連携協定を締結し、6か月ほど経過するが、その進捗と考え方を伺う。						中野市長 山田環境部長
3 ブルーカーボンの活用について	本市でもブルーカーボンの吸収量を算定し、地域温暖化対策実行計画の温室効果ガス吸収量に反映できないか伺う。						袴田カーボンニュートラル推進事業本部長
4 脱炭素の取組について	脱炭素先行地域に選定された宇都宮市を参考に、以下伺う。 (1) 浜松新電力からE VバスやE Vタクシーへ電力供給し、電力の地産地消を推進することができないか伺う。 (2) いわゆる卒F I Tした市内の事業者メガソーラーからの電力を浜松新電力の将来の電源として活用できないか伺う。						袴田カーボンニュートラル推進事業本部長
5 天竜区における地域交通と医療について	天竜区の課題である移動手段と安全・安心な医療について、以下伺う。 (1) 移動手段・医療などの地域課題について、本庁のデジタル・スマートシティ推進課、交通政策課、健康医療課などの関係部署とどのように連携していくのか伺う。 (2) 今後の公共交通のあり方や新たな移動の仕組みを検討すべきと考えるが、今後、どのように取り組んでいくのか伺う。 (3) ドローン航路先行地域として指定を受け、本年度及び来年度のドローン活用拡大の方向性は、どのような内容となるのか。また、次期浜松版M a a S構想にどのように盛り込むのか伺う。 (4) 地域バスの収支率の根拠について伺う。また、地域バスの収支率の基準も含めて、今後、地域交通網形成計画の見直しについてどのように考えるか伺う。						仲井天竜区長 〃 水谷デジタル・スマートシティ推進部長 濱田都市整備部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
6 住民自治と移住支援について	(5) 医療と通院手段の確保について、以下伺う。 ア デイサービス施設等でのオンライン診療の課題と今後の方向性について伺う。 イ 春野地域の医療機関の外来・巡回診療拠点としてのセンター化が必要だと思われるが、どのように考えるか伺う。 ウ 在宅医療を推進するためにはどのようにすべきと考えるか伺う。	平野医療担当部長
	地区コミュニティ協議会の地域力向上事業の活用と山里いきいき応援隊の支援について、以下伺う。 (1) 地区コミュニティ協議会が地域力向上事業を使いやすい仕組みに再検討するとともに事業の周知を図り、利用促進できないか伺う。 (2) 地域カルテを市のホームページに公表できないか伺う。 (3) 山里いきいき応援隊について、以下伺う。 ア 山里いきいき応援隊の終了後の起業支援について伺う。 イ 新規の山里いきいき応援隊を獲得するための方策について伺う。	新谷市民部長
7 公共交通について	全国で様々な形態の公共交通が運行されている。そこで、以下伺う。 (1) これからの交通を担うエアモビリティへの支援について、市として産業化への支援をどのように進めていくのか伺う。 (2) 自動運転バスについて、国の目指すレベル4の自動運転実装を目指し、段階的に実証実験を進めているところだが、現状と今後の意気込みを伺う。 (3) グリーンスローモビリティの実証実験の導入について取り組めないか伺う。 (4) 公共ライドシェアの導入について交通事業者や関係機関と調整し、推進していく考えはあるか伺う。	北嶋産業部長
		濱田都市整備部長 山名副市長
8 防災・減災事業について	1月の能登半島地震、8月の宮崎県日向灘を震源とする地震を受け、本市の震災への対応として、以下伺う。 (1) 避難所である小中学校の体育館での空調整備の必要性について、及び停電時のガス発電システムが導入できないか伺う。 (2) 防災基本計画の修正で「トイレカー等のより快適なトイレ設置に配慮するよう努めるものとする。」と、トイレカー等整備の検討について明文化された。トイレの環境整備は、命を守る取組であるため、本市でもトイレカー等の整備をしないのか伺う。	石田危機管理監

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	(3) 本市の耐震改修促進計画期間は令和 7 年度までの 5 年間であるが、令和 8 年度以降の木造住宅の地震対策推進事業について現在の考えを伺う。	濱田都市整備部長
9 教育の課題解決に向けて	(1) 不登校児童生徒の支援策について、以下伺う。 ア 校内の組織的な支援体制や学校外関係機関との連携が重要だが、学校の不登校支援対応力の充実について伺う。 イ 社会的自立を目指すうえで中学校卒業後の学び直しや就労への支援が必要であるが、中学校卒業後の切れ目のない支援体制についてどのように考えるか伺う。 ウ 居場所づくりとして、「学びの多様化学校」も含め協働センター、科学館や図書館など公共施設、さらに、フリースクールなど社会とのつながりの場をどのように考えるか伺う。 エ 社会的な自立に向け、学校外の施設において相談・指導を受けている児童・生徒もいるが、その努力を評価するために相談・指導を受けた日数を指導要録上の出席扱いと考えるガイドラインの作成についての考えを伺う。 オ 市民や保護者へのプランの見える化を図るために（仮称）「浜松版不登校総合対策プラン」を作成する考えはないか伺う。 (2) 紙ベースの学校図書について、市立図書館の電子図書を活用する仕組みづくりを、市立図書館と連携しながら推進することができないか伺う。	奥家学校教育部長
10 高齢者政策について	高齢者に配慮する政策について、以下伺う。 (1) 高齢者施設の大規模修繕の助成制度を創設していくのか伺う。 (2) 補聴器の購入費助成制度を創設する考えはないか伺う。	小松健康福祉部長
11 おたふくかぜ予防接種費用の一部助成について	経済的な負担の軽減と安心して子どもを産み、育てることができる環境整備のため、おたふくかぜワクチン予防接種に助成ができないか伺う。	平野医療担当部長
12 指定管理者制度の見直しについて	競争性を確保するため、公共施設の指定管理者への応募が 1 者しかないケースを減らすことができないか伺う。	鈴木財務部長